

履 歴 書

令和〇年〇月〇日現在

ふりがな 氏 名	おおつま はなこ 大妻 花子			印	性 別	男・女	写 真
生年月日	昭和〇年 5 月 1 日 (満〇歳)						
ふりがな 現住所	〒102-8357 とうきょうと ちよだく さんぽんちょう 12 東京都千代田区三番町 12						
電 話	03-5275-0000	ファックス	03-5275-0000	メール	otsuma.hanako @home.ne.jp		
勤務先	大妻女子大学 家政学部						
所在地	〒102-8357 東京都千代田区三番町 1 2						
電 話	03-5275-0000	ファックス	03-5275-0000	メール	otsuma.h@otsuma.ac.jp		

経 歴 事 項	
年 月	学 歴 (高等学校卒業以降)
1992年 3月	大妻高等学校 卒業
1992年 4月	大妻女子大学家政学部〇〇学科 入学
1996年 3月	大妻女子大学家政学部〇〇学科 卒業
1996年 4月	千代田大学大学院〇〇研究科博士前期課程 入学
1998年 3月	千代田大学大学院〇〇研究科博士前期課程 修了 (文学修士)
年 月	職 歴
1998年 4月	市ヶ谷商事 本社 ~2001年 9月 (勤続 3年 6ヶ月)
2001年 10月	市ヶ谷商事 新宿支店 ~2014年 3月 (勤続 12年 6ヶ月)
2014年 4月	大妻女子大学家政学部 准教授 ~現在 (勤続 5年 7ヶ月) (主な担当科目: 家政学原論、キャリア教育論、生活科学、家族関係論、社会福祉論、ゼミナール)
年 月	賞 罰
	なし
年 月	免 許・資 格
1996年 3月	中学校英語教員免許
年 月	所属学会等
2003年 4月	日本生活科学学会 ~2009年 3月
2007年 10月	日本家政学会 ~現在
2015年 4月	厚生労働省キャリア教育委員 ~現在

教育研究業績書

			氏名 大妻 花子
著書・学術論文等名称	著者名(単著・共著)	発行所・発表雑誌等名称	Vol., No., p.○-○, 西暦.
I 著書			
1.ビジネスとプレゼンテーション	大妻花子, 渋谷直子, 本田 敦(共著)	千代田大学出版	1 章 コミュニケーション理論 p.1-25, 3 章プレゼンテーションの方法 p.65-89, 2010.
2.アパレル産業の物流コンセプト	大妻花子(単著)	実践出版	総ページ数 212 頁, 2015.
3.生活科学の基礎	豊田幸子, 大久保敏江, 大妻花子, 山口寛子(共著)	東京出版	3 章 家庭と安全, p.101-135, 2017.
(事典等はその他に記載)			
II 原著論文			
1.家事労働における身体負担に関する研究	大妻花子, 渋谷直子(共著)	東京家政学会学会誌	Vol.11, No.4, p.25-34, 2013.
III 紀要			
1.高等教育における環境教育のフレームワーク	大妻花子(単著)	大妻女子大学家政学紀要	Vol.25, p.10-21, 2017.
IV 総説、解説等			
V 研究報告書、調査報告書等			
1.家政学部におけるデザイン教育の方向性	大妻花子, 千代田学	日本家政学研究所 2014 年度助成研究報告書	p.10-28, 2015.
VI 学会発表、公开发表等			
1.家庭におけるインターネット環境	大妻花子	東京家政学会平成 25 年全国大会予稿集	p.120-121, 2013.
2.携帯電話に関するセキュリティ意識	大妻花子	日本生活科学学会平成 28 年度発表会	2016.
VII 教育活動、社会活動等			
1.30 代からのワーク・ライフ・バランス(講演)	大妻花子	千代田区生涯学習センター	2012.

氏名 大妻 花子

著書・学術論文等名称	著者名(単著・共著)	発行所・発表雑誌等名称	Vol., No., p.○-○, 西暦.
VIII その他 1. ライフスタイルと環境について解説	豊田幸子, 大久保敏江, <u>大妻花子</u> , 他 5名	千代田大学出版 家政学事典	p.95-101, 2014.

IX 競争的研究資金			
資金制度・研究費名 (配分機関等名)	研究課題名 (研究代表者名)	役割(代表・分担)	研究期間
1. 科学研究費(基盤研究(C))	家事労働の生態負担に関する基礎的研究(豊田幸子)	分担(豊田幸子, 渋谷直子, <u>大妻花子</u>)	2015-2017

以上の通り相違ありません。

令和〇年 11 月 1 日

氏名 大妻 花子

印